※令和４年度以降入学生用

学校番号	2201

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ ②	2	２～４	Amity English CommunicationⅡ (開隆堂) Amity English Communication Ⅱワークブック (開隆堂)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本科目は英語の四技能（「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」）を高める科目である。日常生活、社会貢献、異文化理解等の多種多様な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
・教科書で取り扱う文法事項や言語表現は、既出のものが多くあるが、次年度以降の学習の基礎として必要となるため、しっかり取り組み定着させていく必要がある。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２～４学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・趣味や学校生活などの身近な話題についてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ・ダンスやものの制作など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればその通り行うことができる。	・有名人の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ・簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。	・自分のことや身の周りのことについて簡単な紹介や説明を求められても、即興で適切に応答することができる。	・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

後期	7) Artificial Intelligence 8) The Mystery of Colors 9) Street Performers	聞くこと	a: 英語で話されている「科学的な内容」や「世界共通の文化」についての文章の具体的な情報を聞き取れるか。 b: 英語で話されている「科学的な内容」や「世界共通の文化」についての文章の具体的な情報をまとめられるか。 c: 積極的に聞いた情報を確認しようとしているか。	ワークシート ノート 会話テスト
		読むこと	a: 英語で書かれている「科学的な内容」や「エンターテイメント」についての文章の内容を読み取れるか。 b: 英語で書かれている「科学的な内容」や「エンターテイメント」についての文章の内容をまとめられるか。 c: 積極的に読んだ内容を確認しようとしているか。	ノート 小テスト 定期考査
		話すこと (やり取り)	a: ペアで、自分の興味のある「エンターテイメント」の紹介を口頭で行う際に、の自分自身の感情や考え方などを伝わる英語に変換できるか。 b: ペアで、自分の興味のある「エンターテイメント」の紹介を口頭で行う際に、自分自身の感情や考え方などを伝わる英語で話せるか。 c: 積極的にやり取ろうとしているか。	ワークシート ノート 会話テスト
		書くこと	a: 「自分の興味のあるエンターテイメント」の紹介文を書く際に、自分自身の感情や考え方などを伝わる英語に変換できるか。 b: 「自分の興味のあるエンターテイメント」の紹介文を書く際に、自分自身の感情や考え方などを伝わる英語で書けるか。 c: 積極的に英文を作成しようしているか。	ワークシート ノート 定期考査
	中間考査			
	10) The Culture of Selfies 11) Finland 12) In Order to Live a Happy Life	聞くこと	a: 英語で話されている「新しい文化の紹介文」や「会話文やＥメール」、「幸せについての抽象的な内容の文」の具体的な情報を聞き取れるか。 b: 英語で話されている「新しい文化の紹介文」や「会話文やＥメール」、「幸せについての抽象的な内容の文」の具体的な情報をまとめられるか。 c: 積極的に聞いた情報を確認しようとしているか。	ワークシート ノート 会話テスト
		読むこと	a: 英語で書かれている「新しい文化の紹介文」や「会話文やＥメール」、「幸せについての抽象的な内容の文」の内容を読み取れるか。 b: 英語で書かれている「新しい文化の紹介文」や「会話文やＥメール」、「幸せについての抽象的な内容の文」の内容をまとめられるか。 c: 積極的に読んだ内容を確認しようとしているか。	ノート 小テスト 定期考査
		話すこと (発表)	a: 「自分の興味のある国」について口頭で発表する際に、自分自身の感情や考え方などを伝わる英語に変換できるか。 b: 「自分の興味のある国」について口頭で発表する際に、自分自身の感情や考え方などを伝わる英語で話せるか。 c: 積極的にやり取ろうとしているか。	ワークシート ノート 会話テスト
		書くこと	a: 「自分の興味のある国」についての紹介文を書く際に、自分自身の感情や考え方などを伝わる英語に変換できるか。 b: 「自分の興味のある国」についての紹介文を書く際に、自分自身の感情や考え方などを伝わる英語で書けるか。 c: 積極的に英文を作成しようしているか。	ワークシート ノート 定期考査
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度